

平成 27 年度北海道社会福祉協議会 認知症介護実践研修(実践者研修)受講者募集要項

1 開催目的

高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できるよう、福祉専門職として、どのようなサービス形態にあっても介護現場で実践できる専門職員を養成する研修を実施することにより、認知症介護の知識や技術を習得し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。

2 研修対象

- (1) 介護保険施設等において、現に認知症介護業務に従事する職員で、身体介護に関する基本的知識・技術を修得し、認知症介護業務に概ね2年従事した経験を有している者。
- (2) 居宅介護支援事業所等で居宅サービス計画等の作成に従事する介護支援専門員であって認知症の利用者に係る計画等作成の経験を概ね2年程度有する者。

3 研修募集人員

各80人

4 研修内容

- (1) 第1回～第3回開催分
講義・演習 4日間：33.3時間 ※ 詳細は別添研修カリキュラム-①のとおり。
- (2) 第4回開催分
講義・演習 5日間：33.3時間 ※ 詳細は別添研修カリキュラム-②のとおり。

5 研修日程

第1回	① 講義・演習 平成27年6月16日(火)～6月19日(金) ② 実習結果報告まとめ 平成27年7月29日(水) 実習日程 ・外部実習：1日間(平成27年6月22日(月)～6月27日(土)のうち1日) ・職場実習：2週間(平成27年6月29日(月)～7月12日(日))
第2回	① 講義・演習 平成27年8月25日(火)～8月28日(金) ② 実習結果報告まとめ 平成26年10月1日(木) 実習日程 ・外部実習：1日間(平成27年8月31日(月)～9月5日(土)のうち1日) ・職場実習：2週間(平成27年9月7日(月)～9月20日(日))
第3回	① 講義・演習 平成27年9月15日(火)～9月18日(金) ② 実習結果報告まとめ 平成27年11月5日(木) 実習日程 ・外部実習：1日間(平成27年9月28日(月)～10月3日(土)のうち1日) ・職場実習：2週間(平成27年10月5日(月)～10月18日(日))
第4回	① 講義・演習 平成28年1月25日(月)～1月29日(金) ② 実習結果報告まとめ 平成28年3月2日(水) 実習日程 ・外部実習：1日間(平成28年2月1日(月)～2月6日(土)のうち1日) ・職場実習：2週間(平成28年2月8日(月)～2月21日(日))

※上記日程については、申込み状況によって開催しない回もありますのでご了承ください。

※第4回のみ冬期間開催のため講義・演習は5日間日程となります。

6 研修場所

- (1) 講義・演習・実習結果報告まとめ
かでの2・7 8階「820研修室」(札幌市中央区北2条西7丁目)
- (2) 実習
 - ・外部実習：日程及び外部実習施設については、受講決定後に郵送にて連絡します。
 - ・職場実習：原則各受講者が所属している職場
※今後開設を予定している事業所等の受講申込み者で、職場実習施設が決定していない場合は、ご自分で職場実習先を調整してください。
※職場実習の内容については認知症高齢者介護業務になります。

7 受講料

20,000円（研修初日に受付にて徴収いたします。）

※外部実習受入施設への実習費用として、別途3,000円を受入施設に実習当日直接お支払いいただきます。

【重要】

当日無断欠席者についてはキャンセル料として受講料20,000円を請求させていただきますので予めご了承ください。

8 受講の申込み

- (1) 申込みは研修受付システムへログイン後、下記の申込期間を必ずご確認の上、「研修受講申込フォーム」よりお申込みください。詳細については、別紙①「研修の申込から受講までの流れについて」を参照してください。

各日程における申込期間

・第1回開催分 【平成27年4月10日(金)～4月27日(月)】

・第2回～4回開催分 【平成27年4月10日(金)～6月22日(月)】

- (2) 受講申込みは原則1事業所あたり各回1名とします。ただし、新設・増設等で受講修了者がいないなど緊急やむを得ない事情のある場合は2名以上とすることができます。
- (3) 受講決定後のキャンセルや受講予定者に変更がある場合は、研修前日までに必ず「変更フォーム」より変更してください。

また、変更後、内容確認のため連絡させていただくことがありますので予めご承知おきください。「変更フォーム」につきましては研修受付システムの取扱説明書をご参照ください。

⇒ (https://dosyakyousakura.ne.jp/kenshu/user_manual_1_4_1402132.pdf)

- (4) 研修受付システムを利用するには、事前に事業所登録(ユーザー登録)の上、「ID」「パスワード」を取得する必要があります。すでに事業所登録がお済みの場合は研修受付システムへログインしてお申込みください。
- (5) 事業所が未登録の場合は、別紙②「新規ユーザー(事業所)登録および研修受付システムへのログイン方法等について」を参照してください。

9 受講の可否

受講の可否については、下記に記載している期日までに、ご登録いただいたメールアドレスあてに受講申込書に基づき受講者を選定(指定基準・受講希望回・申込順等を勘案)して、『受講承認通知書(決定通知)』又は『受講不承認通知書』のいずれかをお送りいたします。

・第1回開催分 【平成27年5月11日(月)】

・第2回～4回開催分 【平成27年7月 3日(金)】

10 受講料の支払方法

受講料は、研修初日に受付時に現金でお支払いください。

11 修了証書の交付

全課程修了者(外部実習・職場実習含む)には修了証書を交付します。

申込書に不実や虚偽の記載が認められた場合には、受講決定の取り消し又は、修了証書を交付できない場合があります。

また、修了証書交付後に虚偽が認められた場合は、修了を取り消す場合があります。

12 その他研修中の注意事項

- (1) 受講の際は、研修初日に『受講承認通知書(決定通知)』を受付に提示してください。
- (2) 欠席・遅刻・早退をされた場合は「修了証」の交付ができかねますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 受講申込みに係る個人情報は、北海道及び市町村に対し修了者情報を提供する場合を除き、本研修会に係る業務にのみ使用し、厳重に管理します。

13 問い合わせ先

社会福祉法人北海道社会福祉協議会 社会福祉研修所

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター 3階

TEL 011-241-3979(直通) / FAX 011-271-0459

北海道社会福祉協議会認知症介護実践研修(実践者研修)カリキュラム-①

【4日間カリキュラム】

日程・時間		時間数 (分)	研 修 科 目	目 的
第 1 日	9:10～ 9:30		受 付	受講料受領／資料配布
	9:30～ 9:40		開講式	
	9:40～ 9:55	15	オリエンテーション	研修の目的と目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し、受講の方向性を明確にする。加えて、研修の機会を、研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワークづくりの場に活用することを促す。
	9:55～12:55	180	講義・演習 新しい認知症介護の 理念の構築	認知症の人の能力に応じて自立した生活を保障するために求められる介護理念を、グループワークを通して検討し、自分の言葉で構築することを目指す。その際に、先進的な事例を複数例示し、抽象的にならず具体的に検討することを促す。
	12:55～13:45		昼休憩	
	13:45～15:15	90	講義・演習 医学的理解	認知症という病気と症状の説明で終わるのではなく、医学的理解が認知症介護を行うに当たって必要とされる理由が理解されること。医学面から本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深める。
	15:15～16:15	60	講義・演習 心理的理解	認知症によって高齢者の心理にどのような変化が生じ、それが生活面にどのような影響を与えるかを学び、高齢者の心理面の理解を深めること。高齢者への周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解する。
	16:25～18:25	120	講義・演習 生活の質の保障と リスクマネジメント	認知症を抱えたことで生じる生活上の困難は本人の生活の質の低下のみならず、事故の危険性も高めることを知る。従来のリスクマネジメントは、事故に対する危機管理が中心であったがそれだけでなく、認知症を抱えた人の権利を擁護し個人の生活の質を継続的に保証するためのリスクマネジメントのあり方を学ぶ。
	18:35～19:05	30	演習 研修の自己課題の設定	研修のねらいを下に、研修中の個人の課題設定を行うことで、主体的に研修に参加する態度を促す。なお、課題は、実習まで含むものとする。
	19:05～19:20	15	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。
第 2 日	9:10～12:10	180	講義・演習 生活障害としての 認知症の理解	認知症という障害を抱える中で自立した生活を送ることの意味と、それを支援することの重要性を講義のみでなく演習を通して理解を深める。
	12:10～13:00		昼休憩	
	13:00～15:20	140	講義・演習 認知症の人の理解に基づく 生活のアセスメントと支援	認知症の人が、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援として必要な、認知症介護のアセスメントと生活支援の方法の基本を理解すること。
	15:30～18:00	150	講義・演習 事例演習	上記の講義・演習をうけ、事例（モデル事例もしくは研修生からの提出事例を使用する）を用いて、個人への支援の立場に立ったアセスメントと生活支援の方法の基本を理解する。
	18:00～19:15	75	振り返りと交流会	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認するとともに、受講者同士の情報交換、ネットワークづくりの場として交流会を行う。

日程・時間		時間数 (分)	研 修 科 目	目 的
第 3 日	9:10～10:40	90	講義・演習 認知症の人との コミュニケーション	認知症の人の対人関係のとり方を理解し、援助者に求められる位置づけとあり方の理解を深める。
	10:50～12:20	90	演習 援助関係を築く演習	上記の講義を踏まえた演習を通して、実践で活用できる技術を身につける。
	12:20～13:10		昼休憩	
	13:10～14:00	50	講義・演習 若年性認知症の人の支援	若年性認知症の人の疾病を理解し、社会的制度等の活用と、生活支援の方法を考える。
	14:00～15:00	60	講義 家族の理解と支援	家族介護者のみではなく、他の家族も含めた家族の理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介護から生じる家庭内のさまざまな問題や課題を理解し、家族への支援の重要性の理解を深める。
	15:10～16:40	90	講義・演習 人的環境、住居環境を考える	高齢者を取りまく人間関係としての人的環境と住まい（自宅、GH、施設など）を中心とした住居環境の理解を深め、二つの環境の持つ意味を考え、援助者として環境に働きかける重要性を理解する。
	16:50～18:20	90	講義・演習 生活環境を考える	上記の講義演習を踏まえて、事例を通じて具体的に介護における環境のあり方の理解を深め、環境へのかかわり方を考える。
	18:20～19:10	50	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。
第 4 日	9:10～10:40	90	講義・演習 地域社会環境を考える	人的環境と住居環境を取り巻く、地域社会、社会制度などの地域社会環境の理解を深め、その環境の持つ意味を考え、援助者としての環境に働きかけることの重要性を理解する。
	10:50～12:20	90	講義・演習 地域社会の中での生活支援	上記講義演習のまとめとして、認知症の人がさまざまな人的・物的・社会的環境の中で生活していくことを、どのように支援していくべきかを理解し、事例演習を通じてその方法を考える。 また、「認知症を知る1年」「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」について専門職として理解を深める。
	12:20～13:10		昼休憩	
	13:10～15:10	120	講義 認知症の人の権利擁護	認知症により、その人がその人らしく生きるという個人の自由や意思決定が、本来どのように保障されるべきかを理解する。その阻害の例として、虐待、拘束等の内容を理解し、人権擁護の具体的な方法の理解を深め、権利を擁護し尊厳を支える実践者としての姿勢を学ぶ。
	15:20～17:00	100	実習課題設定	研修成果を実践で活用できる“権利を擁護する知識・技術”にするための実習課題を設定する。
	17:00～17:40	40	1日及び4日間の振り返り	研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。

＊「実習結果報告まとめ」 10:00～16:00（受付 9：30～）

実 習	実習期間	内 容
実習1:外部実習	1日間	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習2:職場実習	2週間	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習結果報告まとめ	1日間（10:00～16:00） 受付 9:30～	・実習課題に沿った実習展開の結果を整理し、報告する ・研修全体の自己評価の実施 ・他研修生の自己評価の確認

北海道社会福祉協議会認知症介護実践研修(実践者研修)カリキュラム-②

【5日間カリキュラム】

日程・時間		時間数 (分)	研 修 科 目	目 的
第 1 日	9:10～ 9:30		受 付	
	9:30～ 9:40		開講式	
	9:40～ 9:55	15	オリエンテーション	研修の目的と目標を示し、それに沿って研修カリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し、受講の方向性を明確にする。加えて、研修の機会を、研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワークづくりの場に活用することを促す。
	9:55～12:55	180	講義・演習 新しい認知症介護の 理念の構築	認知症の人の能力に応じて自立した生活を保障するために求められる介護理念を、グループワークを通して検討し、自分の言葉で構築することを目指す。その際に、先進的な事例を複数例示し、抽象的にならず具体的に検討することを促す。
	12:55～13:45		昼休憩	
	13:45～15:45	120	講義・演習 生活の質の保障と リスクマネジメント	認知症を抱えたことで生じる生活上の困難は本人の生活の質の低下のみならず、事故の危険性も高めることを知る。従来のリスクマネジメントは、事故に対する危機管理が中心であったがそれだけでなく、認知症を抱えた人の権利を擁護し個人の生活の質を継続的に保証するためのリスクマネジメントのあり方を学ぶ。
	15:55～16:25	30	演習 研修の自己課題の設定	研修のねらいを下に、研修中の個人の課題設定を行うことで、主体的に研修に参加する態度を促す。なお、課題は、実習まで含むものとする。
第 2 日	16:25～17:40	75	振り返りと交流会	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認するとともに、受講者同士の情報交換、ネットワークづくりの場として交流会を行う。
	9:30～12:30	180	講義・演習 生活障害としての 認知症の理解	認知症という障害を抱える中で自立した生活を送ることの意味と、それを支援することの重要性を講義のみでなく演習を通して理解を深める。
	12:30～13:20		昼休憩	
	13:20～14:10	50	講義・演習 若年性認知症の人の支援	若年性認知症の人の疾病を理解し、社会的制度等の活用と、生活支援の方法を考える。
	14:20～15:50	90	講義・演習 医学的理解	認知症という病気と症状の説明で終わるのではなく、医学的理解が認知症介護を行うに当たって必要とされる理由が理解されること。医学面から本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深める。
	15:50～16:50	60	講義・演習 心理的理解	認知症によって高齢者の心理にどのような変化が生じ、それが生活面にどのような影響を与えるかを学び、高齢者の心理面の理解を深めること。高齢者への周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解する。
	16:50～17:20	30	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。
第 3 日	9:30～11:50	140	講義・演習 認知症の人の理解に基づく 生活のアセスメントと支援	認知症の人が、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援として必要な、認知症介護のアセスメントと生活支援の方法の基本を理解すること。
	11:50～12:40		昼休憩	
	12:40～15:10	150	講義・演習 事例演習	上記の講義・演習をうけ、事例(モデル事例もしくは研修生からの提出事例を使用する)を用いて、個人への支援の立場に立ったアセスメントと生活支援の方法の基本を理解する。
	15:20～16:20	60	講義 家族の理解と支援	家族介護者のみではなく、他の家族も含めた家族の理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介護から生じる家庭内のさまざまな問題や課題を理解し、家族への支援の重要性の理解を深める。
	16:20～16:50	30	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。

日程・時間		時間数 (分)	研 修 科 目	目 的
第 4 日	9:30～11:00	90	講義・演習 人的環境、住居環境を考える	高齢者を取りまく人間関係としての人的環境と住まい(自宅、GH、施設など)を中心とした住居環境の理解を深め、二つの環境の持つ意味を考え、援助者として環境に働きかける重要性を理解する。
	11:10～12:40	90	講義・演習 生活環境を考える	上記の講義演習を踏まえて、事例を通じて具体的に介護における環境のあり方の理解を深め、環境へのかかわり方を考える。
	12:40～13:30		昼休憩	
	13:30～15:00	90	講義・演習 認知症の人との コミュニケーション	認知症の人の対人関係のとり方を理解し、援助者に求められる位置づけとあり方の理解を深める。
	15:10～16:40	90	演習 援助関係を築く演習	上記の講義を踏まえた演習を通して、実践で活用できる技術を身につける。
	16:40～17:10	30	振り返り	この日の研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して得た成果について確認する
第 5 日	9:30～11:00	90	講義・演習 地域社会環境を考える	人的環境と住居環境を取り巻く、地域社会、社会制度などの地域社会環境理解を深め、その環境の持つ意味を考え、援助者としての環境に働きかけることの重要性を理解する。
	11:10～12:40	90	講義・演習 地域社会の中での生活支援	上記講義演習のまとめとして、認知症の人がさまざまな人的・物的・社会的環境の中で生活していくことを、どのように支援していくべきかを理解し、事例演習を通じてその方法を考える。 また、「認知症を知る1年」「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」について専門職として理解を深める。
	12:40～13:30		昼休憩	
	13:30～15:30	120	講義 認知症の人の権利擁護	認知症により、その人がその人らしく生きるという個人の自由や意思決定が、本来どのように保障されるべきかを理解する。その阻害の例として、虐待、拘束等の内容を理解し、人権擁護の具体的な方法の理解を深め、権利を擁護し尊厳を支える実践者としての姿勢を学ぶ。
	15:40～17:20	100	実習課題設定	研修成果を実践で活用できる“権利を擁護する知識・技術”にするための実習課題を設定する。
	17:20～17:35	15	1日及び5日間の振り返り	研修の学びをグループ毎に振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。

＊「実習結果報告まとめ」 10:00～16:00（受付 9：30～）

実 習	実習期間	内 容
実習1:外部実習	1日間	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習2:職場実習	2週間	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習結果報告まとめ	1日間（10:00～16:00） 受付 9:30～	・実習課題に沿った実習展開の結果を整理し、報告する ・研修全体の自己評価の実施 ・他研修生の自己評価の確認